

2026 年度

第 2 回豊岡市多様性推進・ジェンダーギャップ対策検討委員会

第 2 回豊岡市多様性推進本部 ジェンダーギャップ対策部会・多文化共生推進部会

日 時 2026 年 10 月 2 日（金）13：30～16：30

場 所 豊岡市役所 3 階 庁議室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 第 1 回委員会の振り返り

4 情報提供・講話

・豊岡市多文化共生推進アドバイザー／田村太郎さん

『男女共同参画・ジェンダー平等と多文化共生』

5 ワークショップ・意見交換

本日のワークショップの趣旨と進め方について

・豊岡市ジェンダー平等推進アドバイザー／大崎麻子さん

(1) ワーク① 「包括的性教育」の副題（サブタイトル）を考える

《事前課題》

① 「“包括的性教育”の内容が伝わる副題（サブタイトル）を考えてみてください。あなたが市民にこの取組を紹介するとしたら、どのような言葉で伝えますか？」

② 「子どもや若者に、“包括的性教育”を通じて最も伝えたいことは何でしょうか？」

③ 「もし、大人も“包括的性教育”を学べる機会があるとしたら、あなた自身は何を学んでみたいですか？」

◎ 《事前課題》のグループ内共有と意見交換

◎ 各グループの統一見解 全体共有

・「包括的性教育」を一目で理解できるサブタイトルとは

・グループ内で特に目立ったアイデア、印象的な意見など

———— 休憩【10 分】 ————

(2) ワーク② 成長分野へのジェンダー主流化を考える

〔成長4分野〕①観光・交流 ②芸術文化・クリエイティブ ③グリーン～農業・園芸・環境・脱炭素・循環経済 ④健康・ケア・ウェルビーイング

《事前課題》

- ①「この分野では、“これまで当たり前”と思われる働き方や役割分担、仕組みには、どのようなものがありますか？」
- ②「その“当たり前”を見直したとしたら、どのような新しい可能性が生まれるでしょうか？」→できるだけ具体的なアイデアで
- ③〔市民委員さん、庁内委員さんへの設問〕「そのアイデアを実現するために、市役所にはどのような役割が期待されるでしょうか？」
- ③〔庁内委員さんへの設問〕「このアイデアを実現するために、自分たちの部署では何ができるでしょうか？」

◎《事前課題》各委員の見解をグループ内共有

◎グループ討議・意見交換

- ・各分野で“当たり前”とされている仕組み、役割分担とは
- ・ジェンダー視点で見直したら、起こるであろう可能性
- ・新商品、サービス、仕事、起業、地域の魅力がどう変わるのか
- ・ジェンダー視点の取入れ、変化に行政・市役所が為すべきことは

◎意見とりまとめ、全体共有への準備

◎各グループの統一見解 全体共有

※ できるだけ各グループでの発見や学び、発想アイデアの全体共有に時間を費やしたいと考えています。

6 両アドバイザーから講評コメント

◎田村太郎アドバイザー／多文化共生、地域づくりの観点から

◎大崎麻子アドバイザー／ジェンダードイノベーションの観点から

7 事務連絡

(1) 第3回検討委員会・多様性推進本部 部会

11月9日(月) 13:30～16:30、於／豊岡市役所2階 大会議室

8 閉 会

【検討委員会】

大崎	田村		赤松	井垣	石高	大槻	岸田	久木田	佐藤	高橋	高柳	瀧下	西村	平峰	廣井	三浦	姚
						欠										欠	遅

【多様性推進本部 部会】

大谷	福田	西澤	岡本	太田垣	木内	小操	山田	羽尻	中田	伊崎	伊藤	谷垣	三輪	事務局			
		欠		欠				欠	遅	欠			欠	太田垣、原田、 道下、稲田、大森			